

日本留學試驗 特殊協助需求表

Examination for Japanese University Admission for International Students

※本申請書及證明文件須於報名期間內寄出※

如需申請特殊協助或自備醫療物品／輔具者，請列印並詳填下附「日本留學試驗 受験上の配慮申請書」(共5頁)，內容須以日文或英文填寫，並請留意以下事項：

(a) 5・障害の内容

請圈選障礙類別，並於底下方框內詳述障礙程度及對日常生活(如上課、定期測驗等)的影響。

(b) 6・希望する受験上の配慮事項の内容

請勾選欲申請之特殊協助項目，如有未列出者，請於下方備考欄內詳述。

(c) 7・添付資料

請檢附①(如有)身心障礙手冊正、反面影本或②英文版醫師診斷證明(影本可)；並須明確記載檢查結果/數值、對考生之影響及具體需協助事項。請留意：審核過程中如日方認為資料不足，將請考生追加提供其他文件。

(d) 8・これまでに日本留學試験以外の試験で受けた配慮

曾參加 EJU 以外其他測驗且申請特殊協助獲准者，請具體說明並檢附相關證明文件影本或師長說明書(如有)。

(e) 9・これまでに学校生活上で受けた配慮

在學時如上課、定期測驗等曾申請特殊協助獲准者，請由師長提供在校學習情況之具體說明，格式不拘。

上述文件請於報名期限內寄出，申請文件恕不退還，如有需要，請於寄出前自行影印留存。申請事項經主辦單位日本學生支援機構(JASSO)審核後，視情況予以配合，並於考前寄發「受験上の配慮事項決定通知書」。未於報名時提出協助需求者，恕難臨時安排。

ITTC[®] 財團法人語言訓練測驗中心

綜合測驗處 第一科

地址：106032 台北市辛亥路2段170號(臺大校總區內)

E-mail: aju@lttc.ntu.edu.tw

電話：(02)2365-5050 分機 259





日本留学試験 (EJU) 受験上の配慮申請書

20 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構
留学生事業部 留学試験課長 殿

私は、日本留学試験受験に際して、下記のとおり受験上の配慮を希望します。

記

1. 申請者の情報

受験者本人	氏名(アルファベット)	※出願する氏名のとおりに書いてください。		
	氏名(カタカナ)	*****		
	生年月日	年	月	日
	住所			
	TEL		E-mail	
	所属学校名			

受験上の配慮事項決定通知書の送付先 受験者本人 代理人 (どちらかをチェック)

過去に日本留学試験を受験したことがある はい いいえ (どちらかをチェック)

→ (はいの場合) 受験番号: _____ (わかる場合のみ書いてください)

以下は、代理人が申請する場合のみ記入してください。

代理人	氏名		受験者との関係	
	住所			
	TEL		E-mail	

2. 希望する試験回 20____年度 第____回

3. 受験予定地 日本 日本以外の国 (どちらかをチェック)

受験予定の都市名: _____

4. 受験予定科目 日本語 理科 総合科目 数学 (当てはまるものにすべてチェック)

5. 障害の内容（該当番号に○をつけてください。）

障害の内容	
視覚障害	1. 全盲 2. 弱視 3. その他（ ）
聴覚障害	4. 聾 5. 難聴 6. その他（ ）
肢体不自由	7. 上肢 8. 下肢 9. その他（ ）
発達障害	10. 限局性学習症 11. 注意欠如多動症 12. 自閉スペクトラム症 13. その他（ ）
その他	14. その他（例 怪我等 ）

この欄に、障害の程度を詳しく記入してください。怪我等により配慮を希望する場合も状況を詳しく記入してください。（記入しきれない場合は別紙に記入して提出すること。）

6. 希望する受験上の配慮事項の内容（該当するチェック欄に○をつけてください。）

配慮の種別	配慮内容	チェック欄	
解答方法や試験時間に関する配慮	点字による出題・解答		
	拡大文字問題冊子の配付		
	拡大解答用紙の配付		
	解答用紙への文字記入による解答（日本語記述以外）		
	解答用紙へのチェックによる解答		
	問題冊子への直接記入による解答		
	代筆者による解答		
	解答時間の延長（ 倍）（※4）		
	※延長を希望する科目にすべてチェックしてください □ 日本語 □ 理科 □ 総合科目 □ 数学		
試験室や座席に関する配慮	別室での受験（※5）		
	座席位置配慮	窓側の明るい座席を指定	
		スピーカーの近くの座席を指定	
		出入り口に近い座席を指定	
	トイレに近い試験室での受験		
	1階またはエレベーターが利用可能な試験室での受験		
可動式机・椅子での受験			
持参して使用するものに関する配慮	点字器等の持参使用		
	拡大鏡の持参使用		
	補聴器又は人工内耳の装用（※6）		
	イヤホン又はヘッドホンの持参使用		
	車椅子の持参使用		
	特製机・椅子の持参使用		
	杖の持参使用		
その他の配慮	注意事項等の文書による伝達		
	試験場への自動車による入構		
	試験室入口までの付添者の同伴		
	補助犬の同伴		
	試験室内に介助者の配置		
	聴解・聴読解試験の免除		

※1 これらの配慮事項は、障害等の種類や程度にかかわらず、必要に応じて申請することができます。

※2 複数の配慮事項を申請することや、上表に記載がない配慮事項を申請することもできます。（「備考欄」に具体的に記載してください。）

※3 第二希望がある場合は、次ページの「備考欄」に具体的に記載してください。（例：別室が認められない場合は、座席位置配慮を希望するなど。）

※4 延長を希望する科目及び時間を記載してください。また、その時間が必要であることがわかる根拠資料を併せて提出してください。参考として、日本の高等教育では、標準的に1.3倍、1.5倍が使われています。

※5 別室については、受験者の症状及び受験方法（試験時間の延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室になる場合があります。特に個室（試験室に受験者1名）を希望する場合は、明確な理由を「備考欄」に記載してください。

※6 無線通信機能（FM電波やBluetooth等）を用いた補聴援助システムは使用できません。FM電波等の受信機能がある場合は、その受信機能のスイッチを切って使用してください。

7. 添付資料

※希望する配慮事項の必要性を裏付ける根拠資料を併せて提出してください。（写しでも可）

なお、根拠資料には、障害の状況を客観的に説明した各種検査結果（数値等を含む検査結果等）と、その結果に基づいた詳しい所見や学校生活状況を記載してください。加えて、その障害の状況が、希望する配慮事項とどのように関わるかを具体的に説明した記載が必要です。

※日本語以外の書類には、日本語もしくは英語の訳を添付してください。

※提出された書類では情報が不十分な場合は、追加の情報や書類等の提出を求めることがあります。

【例】①公的機関が発行した障害について認定した書類（障害者手帳等）

②適切な診断基準に基づいた医師の診断書

※ 医師の診断書には、適切な診断基準に基づいた機能障害に関する記述が必要です。

③標準化された心理検査の結果

※あなたの障害を適切に説明する標準化された心理検査を提出してください（例：WISC-IV、WAIS-IV、KABC-II等）。標準化された心理検査以外の検査を添付する場合は、その検査の詳細な説明を添えてください。

※実施日や実施者が書かれていない、または心理検査が特定の地域のもの、独自のものである場合には、根拠資料にならない場合があります。

④これまでに学校生活上で受けた配慮についての資料（個別の教育計画/個別の支援計画）

8. これまでに日本留学試験以外の試験で受けた配慮

配慮を受けた

配慮を受けていない（どちらかをチェック）

入試や各種試験の受験時に配慮を受けた場合、実施の具体的な状況を以下で詳しく説明してください(任意の様式)。その際、受験上の配慮事項に関する決定通知書等客観的な受験上の配慮に関する事実が記載されている資料、もしくはその配慮実施に関わった教員等が作成した資料があれば、添付してください。

9. これまでに学校生活上で受けた配慮

配慮を受けた

配慮を受けていない（どちらかをチェック）

あなたがこれまでに学校生活上で配慮を受けていた場合、実施の具体的な状況を以下で詳しく説明してください。また、その配慮実施に関わった教員等が作成した資料を添付してください(任意の様式)。

学校名：

在籍期間： 年 月 ～ 年 月 まで

10. 個人情報の取り扱いに関する同意について

私は、日本留学試験で受験上の配慮措置を受けるために提出する「受験上の配慮申請書」に記載した内容と添付資料が日本留学試験 受験案内の「個人情報の取扱いについて」に基づき、取り扱われることに同意します。

本人署名 _____

代理人署名 _____

※本人署名が困難な場合に限り、代理人が署名してください。

以上